

目薬について

ほんまち診療所

原 田 哲 二 先生

よく患者さんからの質問で多いのが目薬の使い方です。目薬は内服薬のように口にしっかり入るわけではないので、正しく使えているのか心配になりがちです。つい多くさしたり、よくなると忘れてしまったりします。ただし、医療機関で処方される目薬の中には使い過ぎたり、怠ると悪影響が出る場合があります。そこで、今回は目薬のことを書いてみたいと思います。

点眼方法

目薬をさすときは、目薬の容器の先端が目や目の周りに触れないようにしてください。どこかに触れるだけで汚染されることになります。ただし、多くの場合は防腐剤が添加されています。下まぶたを引き、そこに落とすのも良いです。できれば点眼後しばらくは目を閉じ、目頭を押さえるようにすると薬の吸収が良いです。2種類以上の薬を使う場合は、最低5分は間隔を空けた方がそれぞれの薬の効果が期待できます。

点眼回数

決められた回数を守ってください。つけ過ぎたり怠った場合は薬によっては良くない影響があります。最近は1日1回点眼の薬や2種の薬が入った合剤が多く出ています。

何滴させばいい？

うまく入れば1回1滴で十分です。目薬が入る目のスペースは30マイクロリットルとされています。点眼薬1滴は30～50マイクロリットルですので1滴で余るほどです。(1ミリリットル=1000マイクロリットル)。多く入れても流れ出るだけで、薬の効果は変わりません。治療のために薬の効果を確実にしたい場合は1回の点眼量ではなく点眼回数を多くします。

よくある疑問

○点眼薬開封後はどれくらい持つか？・・・防腐剤入りでも1ヵ月以内をめどにしてください。ただし、薬によって異なる場合があります。

○他人の薬を使っていいか？・・・良くありません。衛生上、共用も避けてください。

○1本でどれくらい使えるか？・・・計算すると、一般的な5ミリリットル瓶で両目に1日3回1滴使う場合、2週間くらいは持ちますが、使い方やメーカーによる差があります。

○寝る前に点眼してはいけない？・・・現在の点眼薬では問題ありません。